

植草学園 高校生プレゼンテーションコンテスト 2020 実施要領

1. 目的

地域貢献の一つとして、将来の夢に向かって努力している高校生の自己実現を支援するため、学校外での主体的な学習や活動に積極的に取り組めるよう、広く発表の場を提供します。

また、高等学校・特別支援学校と大学の相互の連携を強め、地域の高校生の育成を図るとともに、地域の県民・市民への啓発、さらには共生社会づくりに資することを目的とします。

なお、本事業は、入試制度が大きく変わる 2021 年度入試（2020 年度実施）に利用が見込まれる、e ポートフォリオ[※]への対応を考慮したものです。

※e ポートフォリオ

新制度入試では、学校内外での主体的な学習・活動が重視されることから、部活動をはじめ、様々な活動・学習などについて、生徒個人の記録をデジタルデータとして保存するシステムが文科省主導で構築され、多くの高校や大学での利用が見込まれている。

2. 概要

① テーマ

『理想の共生社会をめざして』
～ 10年後に必ず実現させたいこととは ～

「インクルーシブ」「共生」という言葉をご存じですか？これからの時代は人種や国籍、性別など、“違い”のある人同士が同じ社会の一員としてともに協力し合って生きていく必要があります。中でも障害のある人については、施設のバリアフリー化、ユニバーサルデザインの普及などが進められ“普通に”暮らしていける環境が整えられつつありますが、まだまだ十分とは言えません。あなたはコロナ禍後の10年後の社会がどんな共生社会であってほしいと思いますか？日頃の地域での活動やグループでの議論などを通して、実現への道筋を示しながら提案してください。

② 発表時間

テーマに沿って自分（たち）の考えることを7分間程度（上限8分）で発表する。

③ 発表方法

コンピュータソフト、書画カメラ、ビデオなどを利用した表現方法による。

④ 定員

個人または団体の15組。

3. 開催日程

令和2年11月14日（土）大学祭（緑栄祭）初日 午前10時～午後2時
10：00～12：00 プレゼンテーション
（昼食・審査）
13：30～14：00 審査発表・表彰

4. 開催場所

植草学園大学さくらホール（千葉市若葉区小倉町1639番3）

5. 対象（発表者）

高校生（千葉県内外の高等学校・特別支援学校高等部 1～3 年生）

6. 応募期間・応募方法

先にエントリーを行い、あとから発表概要を提出する。

① エントリー：令和2年6月1日（月）～9月11日（金）

植草学園ホームページから「エントリーシート」をダウンロードして、必要事項（氏名、学校名、学年、テーマ）を記入（入力）し申し込む。

② 発表概要提出：令和2年8月1日（土）～9月30日（水）

発表の概要を600字以内にまとめ、メール、FAX、郵送(当日消印有効)で提出する。

7. 審査方法・審査員

【審査方法】

（予選）応募者多数の場合のみ実施する。

書類審査…エントリー後に提出の資料をもとに事務局で審査

（本選）学内及び学外の審査員による評価

評価（内容、表現方法、話し方、動作などの8項目について採点）

特に内容を重視した審査を行う。

【本選審査員】

・学内委員4名

中澤 潤 大学・短大学長，野澤和宏 大学副学長，佐藤慎一 短大福祉学科長，学生代表

・学外委員6名（福祉団体、行政、教育委員会、校長会、障害者施設の関係者）（50音順、敬称略）

青木 茂 千葉市若葉区長

中村 敏行 千葉県教育庁教育振興部長

佐藤 弘行 千葉県特別支援学校長会・会長（県立袖ヶ浦特別支援学校校長）

石渡 哲彦 千葉県社会福祉協議会・会長

（障害者施設代表）

平賀 洋一 千葉県高等学校長協会・会長（県立東葛飾中学・高等学校長）

8. 表彰

最優秀賞1名 賞状、盾、図書カード3万円（植草学園賞）

優秀賞2名 賞状、盾、図書カード2万円

奨励賞若干名 賞状、図書カード1万円

参加賞全員

そのほかに特別賞を用意する場合があります。

9. 主催

植草学園大学/植草学園短期大学

10. 後援申請先（予定）

千葉県，千葉県教育委員会，千葉県高等学校長協会，千葉県特別支援学校長会，千葉県社会福祉協議会，千葉市，千葉市教育委員会，千葉市社会福祉協議会，（障害者施設代表）